



布 施 だ よ り

《 人権を考える日～命を慈しむ日～ 》



4月25日(金)は篠ノ井西中学校にとって大切な「人権を考える日」でした。2時間目に生徒会主催の「人権集会」が西体育館で行われました。最初に学校長から「人権を考える日」に寄せての講話がありました。童話作家の松谷みよ子さんの『わたしのいもうと』を題材にした講話でした。

「いじめはナイフで傷つけるより、はるかに恐ろしい結果をまねくことがあります。いじめがまねく結果の恐ろしさ、罪深さを、心から感じてほしい、そう思って話をしました。最後に、今、みなさんの周りにいじめはありませんか？ そのいじめを、見て見ぬふりをしていませんか？ あなたは、人をいじめていませんか？ あなたは今、何をすべきですか？」

次に、生徒会長の齋藤柊くんが全校を代表して思いを伝えてくれました。

「いじめをなくすのは簡単なことではありません。全校の皆さん、ひとりひとりが意識し、行動に移していきましょう。自分が人をいじめないのはもちろんのこと、いじめをしている人がいたら積極的に止める、嫌な思いをしている人がいたら助ける、相談に乗る。とても小さなことですが、続けていけばきっと西中からいじめはなくなると思います。」

学校長と生徒会長からの投げかけを受けて、生徒諸君は「人権」について「命」についてメッセージカードに思いを書き入れます。いくつか紹介します。

- ・みんなと仲良くしたいです。困っている人がいたら自分から話しかけ、ひとりぼっちでいさせないように心がけます。
- ・悩んでいる人がいたら、助けたり相談に乗ったりして、みんなが楽しく生活できるように自分にできることをしたいです。
- ・One for all-All for one
- ・普段何気なく言っている言葉が相手を傷つけているかもしれない。言葉は人を傷つけてしまうものもあるので、「言葉」というものに気をつけたいです。

生徒達は、それぞれのメッセージカードを教室に持ち帰り、3時間目には学級ごとに人権学習に取り組みました。1年生は「温かい心の交流を求めて」の資料で、2年生は「悲しみを秘めて」の資料で、3年生は「私たちの誓いと誇り」を資料に、自身の心のありようと言動を振り返る大切な時間になりました。

またクラスごとに学級人権宣言が話し合われました。「いじめや人を傷つける行為を見て見ぬふりをせず、ノックアウトできるクラスになろう！」など、ひとりひとりの思いが寄せられた人権宣言でした。

昼食を挟んで、午後は保護者の方も参観する中、中庭ミニコンサートが行われました。ハナミズキ咲く
中庭から、2年生諸君は「君に会えて」を、3年生諸君は「空も飛べるはず」を合唱し、最後に「生徒会
歌」を、新入生を交えて全校生徒で心一つにして届けました。

《 つばやく学習集団 》

ある日の理科の追究の様子です。「顕微鏡の使い方をマスターしよう。」を学習問題に、顕微鏡の各部位
の名称確認から入ります。接眼レンズ、鏡筒、アーム、レボルバー、・・・と11パーツから成る顕微鏡
の確認をします。実際の観察に入る前に、顕微鏡の使い方が指示されます。なぜ横からステージを見るの
か、低倍率から高倍率への手順等が納得され、いよいよ観察です。プレパラートを作成し、接眼レンズに
食い入るように見入ります。「あっ、ミジンコだ。」「キモイ！
「すげ〜」「ワムシが泳いでら〜」・・・生徒達からつばやき
が出てくるわ、出てくるわ。そしてまた見入る、見入る。何
よりもこの時間が生徒達の思考が躍動している瞬間でした。
実に生き生きと観察に取り組んでいました。

授業の中で大切にしていきたいことが、今ある自分の力よ
りも、少し上の課題に仲間と一緒に挑戦し、分かりそうで分
からない問題へ、解決の道筋を見出していくことで、伸びる
力を一層伸ばしていくことにつながる。そんな思いからの授
業構成・改善に向けて先生方も頑張っています。



《 篠ノ井あいさつ運動 ～ 笑顔で「おはようございます」 ～ 》

5月12日（月）朝、「あいさつ運動」の幟（のぼり）を立て、襷（たすき）をかけた生徒会役員の諸
君が、登校してくる仲間達に笑顔で「おはようございます」のあいさつをしていてくれました。これは「篠
ノ井あいさつ運動実行委員」の皆様呼び掛けに、西中として応えての活動になります。

「あいさつがつくるくあい」のまち篠ノ井～支えあい、認め
あい、励ましあい～を標語に、毎月11日を「あいさつの日」
とし、篠ノ井地区全体の「あいさつ運動」に参加する形になり
ました。役員諸君は笑顔いっぱいであいさつをしてしてくれていま
す。あいさつを受けて、返す生徒諸君も初めは照れ顔であった
のが、次第にこやかな表情に変わっていきました。1週間が
爽やかな笑顔でスタートが切られました。全校が心地よいあい
さつで満ちた朝のひと時でした。

これからも毎月11日を「あいさつの日」として多くの生徒
諸君が関われるよう活動を展開していってくれます。



～ ～ ～ ～ ～
当たり前毎日の生活が、様々な種類の活動に支えられていることに気づくことがあります。学校生活
の中でも、多くの活動や心遣いに支えられています。

毎朝、生徒玄関を清掃してくれている諸君がいます。また職員室前の廊下を床磨きしてくれている生徒
がいます。聞けば、委員会のボランティア清掃であったり、自主的に掃除してくれていたりと、だとか。また
北校舎へ向かう小黒板には、その日の朝刊から時事的な記事をコンパクトに要約し、書き入れてしてくれて
いる生徒がいます。「TPPの問題」であったり、「オバマ大統領訪日」の話題であったり。社会に目を向ける
きっかけを創ってくれています。また毎朝の校内放送は、その日にまつわるエピソードから一日がスター
トします。「今日はアースデイです。地球の環境を守るため、ひとりひとりが協力しましょう。」といった
具合に。ひとつの集団や組織が当たり前のように過ぎていく上で、ひとりひとりの活動がかけがえのない
ものだというのを改めて感じます。毎日を支えてくれている様々な場所での、何気ない縁の下の力持
ちが、西中の学校生活を潤いのある豊かなものにしていています。

*本号数が「No.7」なのは「校内家庭配布の要約版（No.1～6）」になるからです。今年度もよろしくお願いいたします。